

このサンプルは原寸ではありません。

25mm

# 電気学会九州支部沖縄支所講演会

筆者 1\*, 筆者 2 (所属 A), 筆者 3 (所属 B)

Conference of the IEEJ in Okinawa

Author 1\*, Author 2 (Affiliation A), and Author 3 (Affiliation B)

## Abstract

This is the sample of manuscript of the Conference of the IEEJ in Okinawa. Please prepare your manuscript in accordance with the instructions.

キーワード：電気学会，原稿，サンプル  
(IEEJ, manuscript, sample)

## 1. はじめに

これは電気学会九州支部沖縄支所講演会の一般講演原稿のサンプルです。下記の指示に従い、原稿を作成してください。

## 2. 原稿の準備

### 2.1 原稿レイアウト

- A4 サイズ (297mm×210mm)
- 余白 (上: 25mm, 下: 25mm, 左: 16mm, 右: 16mm)
- 2 段組 (中央は 10mm あける)
- ヘッダおよびフッタには何も記入しない (ページ番号は付けないこと)。
- 文字サイズは表 1 を目安とする。

表 1 文字のサイズ

Table 1. Size of characters

項目	ポイント	文字種
論文題目	16pt	明朝
著者名	12pt	
Paper title	10pt	Times New Roman
Author	9pt	
Affiliation		
Abstract		
キーワード		明朝
章題目	12pt	ゴシック
節題目	10pt	
本文	9pt	明朝
図・表題目		Times New Roman

## 2.2 原稿の書き方

- 論文題目及び著者名 (所属) :**  
原稿用紙の第 1 行目から中央に和文及び英文で記述する。筆者が 2 名以上の場合は、本サンプルのように発表者の右肩に\*印を付ける。
- Abstract :**  
英文による論文概要を 50~100 ワードで記述する。
- キーワード :**  
和文で 3~5 つ記述する。次の行に英文で記述し、( ) でのとじる。
- 本文 :**  
キーワードの下に 2 段組で記述する。
- 図・表題目 :**  
原則として和文と英文の併記とする。
- 参考文献 :**  
原則として和文と英文の併記とする (英文のない場合はその限りでない)。以下に参考文献の例を示す。

## 参考文献

- (1) T. Denki, M. Hanai, and G. Misaki: "Future Technology for Power System Analysis", Transactions Title Vol. 130, No. 1, pp. 130-136 (2006)  
電気太郎・花井桃子・岬 五郎: 「電力系統解析技術の将来」, 論文誌名, Vol. 130, No. 1, pp. 130-136 (2006)

25mm

16mm

16mm

10mm